

1 宮古市教育委員会の事務に関する点検・評価について

(1) 趣旨

本報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、令和3年度(2021年度)に宮古市教育委員会が取り組んだ事務の管理及び執行状況について点検・評価をし、課題や取り組みの方向を明らかにするものです。

点検・評価については、その結果を市議会に提出するとともに、市民に公表し効果的に開かれた教育行政の推進を図ります。

(2) 点検・評価の対象

宮古市総合計画(前期基本計画)では、教育に関する基本施策として「郷土を誇り次代につなぐひとづくり」を掲げており、これを推進するため施策の体系を「学校教育の充実」、「生涯学習の推進」、「スポーツ・レクリエーションの振興」、「文化の振興」としています。

また、「郷土を誇り次代につなぐひとづくり」を推進するための教育行政における具体的施策を示した「宮古市教育振興基本計画(2020-2024)」においても同様の施策の体系としています。

本報告書では、教育委員会の活動状況及び「宮古市教育振興基本計画(2020-2024)」に基づき実施した主な事務事業の執行状況を点検・評価の対象としています。

(3) 点検・評価の方法

令和3年度(2021年度)の主要な事務事業の点検・評価を教育委員会内部で行ったうえで、教育に関し学識経験を有する4人の方から外部の視点によるご意見を伺いました。

氏名	所属
褒岩 敏雄	宮古地区退職校長会事務局
三村 敬之	宮古市社会教育委員
石崎 勝正	宮古市スポーツ推進審議会委員
小野寺 文雄	宮古市社会教育委員

参考 地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)(抜粋)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

(4) 点検・評価の構成

ア 施策

宮古市教育振興基本計画（2020-2024）における「1 学校教育の充実」「2 生涯学習の推進」「3 スポーツ・レクリエーションの振興」「4 文化の振興」の4つの施策です。

イ 基本事業

宮古市教育振興基本計画（2020-2024）における22の基本事業で、詳細は次のページに記載しています。

ウ 施策・基本事業の方向

施策・基本事業の基本方向を記載しています。

エ 事務事業費

事業全体の決算額を千円単位（千円未満は切り上げ）で記載しています。

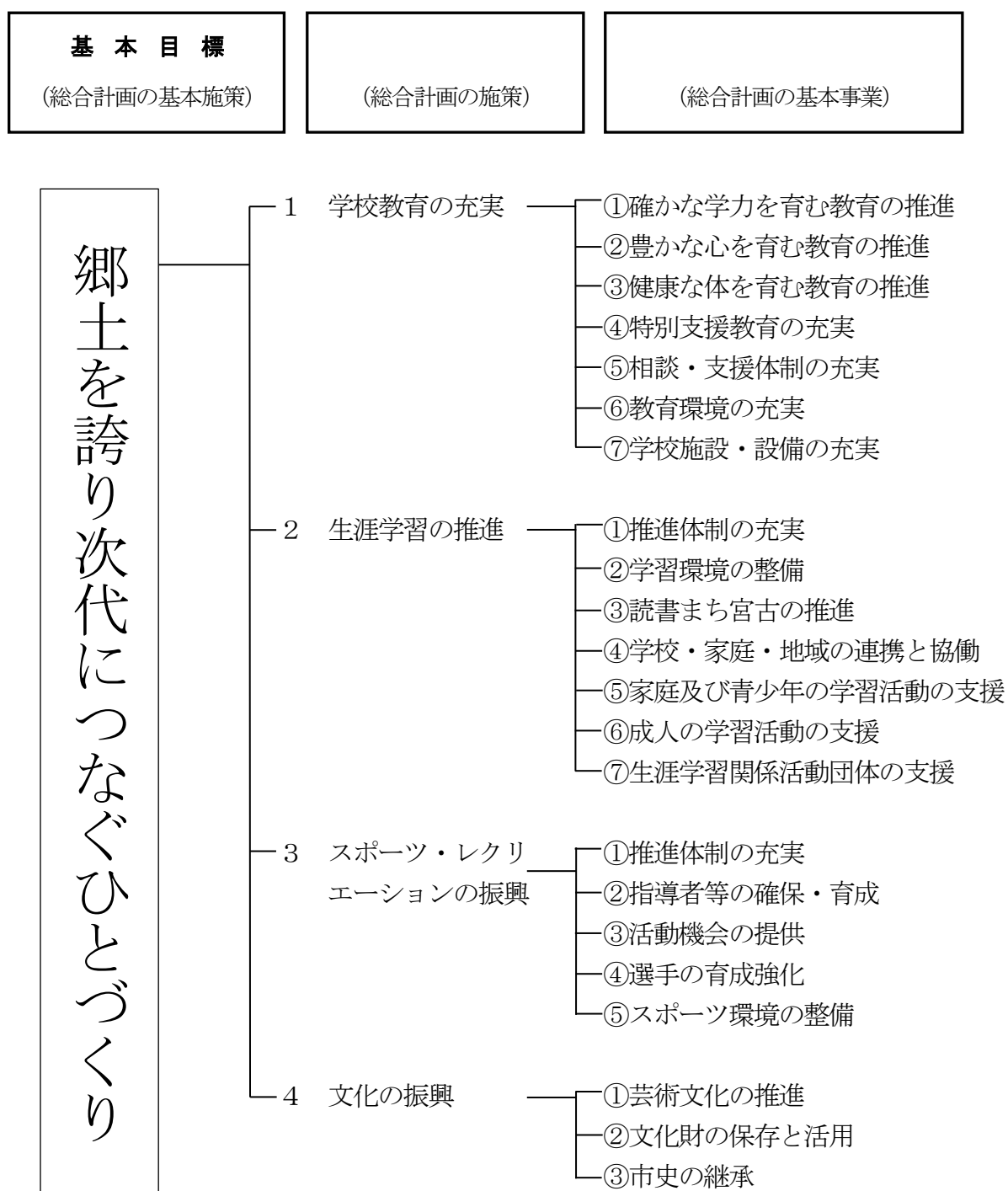
オ 活動実績・成果

主な活動実績を記載しています。

カ 施策の総括

施策の事業ごとに評価の総括を記載しています。

(5) 宮古市教育振興基本計画（2020-2024）・施策の体系



2 教育委員会の活動状況について

(1) 教育委員会について

教育委員会は、創造的で人間性豊かな人材を育成するため、生涯学習、学校その他の教育機関の設置・管理、学校教育、社会教育、スポーツ、文化等の教育行政を一体的に推進する、市長からは独立した合議制の執行機関です。

(2) 教育委員会の組織

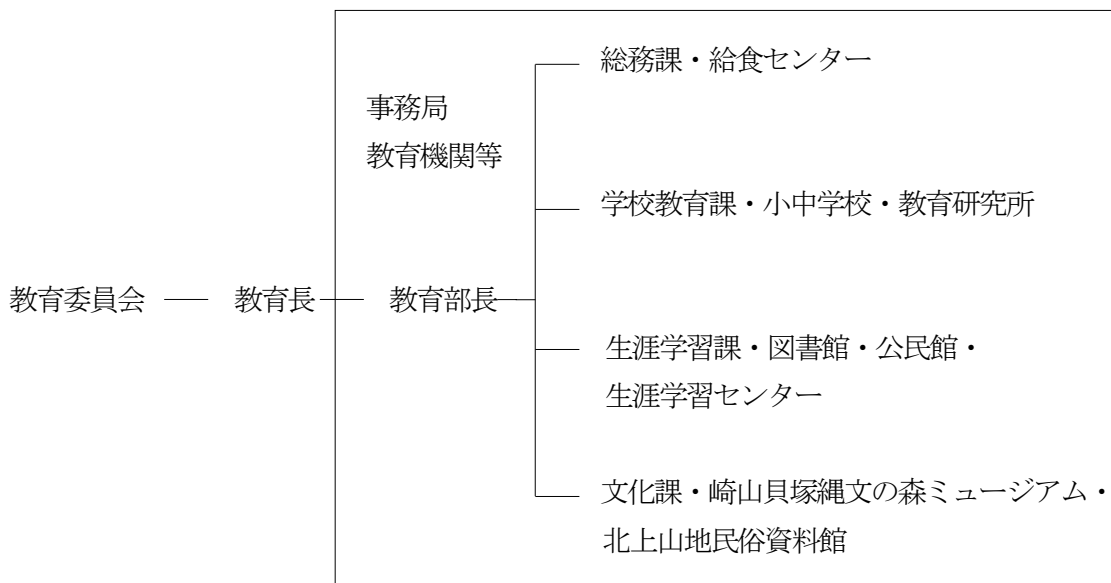
宮古市教育委員会は、教育長と4人の教育委員で組織されています。

教育長及び教育委員は、人格が高潔で、教育、学術、文化等に関して識見を有する者を市長が市議会の同意を得て任命します。

教育長の任期は3年、教育委員の任期は4年で、再任されることもあります。

教育長は、教育委員会の会務を総理し、教育委員会を代表します。

また、教育委員会の権限に属する全ての事務をつかさどり、統括し、所属の職員を指揮監督します。



(3) 教育委員会委員の構成

(令和3年度)

職 名	委員としての任期	教 育 長 任 期 (教育長職務代理者任期)
氏 名		
教 育 長 伊 藤 晃 二	—	令和2年(2020年)8月30日から 令和5年(2023年)8月29日まで
教育長職務代理者 荒 谷 榮 子	平成29年(2017年)8月30日から 令和3年(2021年)8月29日まで 令和3年(2021年)8月30日から 令和7年(2025年)8月29日まで	令和3年(2021年)8月30日から 次の職務代理者が指名されるまで
委 員 橋 本 美 紀	令和元年(2019年)8月30日から 令和5年(2023年)8月29日まで	—
委 員 平 井 亮 吉	令和2年(2020年)8月30日から 令和6年(2024年)8月29日まで	—
委 員 杉 本 裕 樹	平成30年(2018年)8月30日から 令和4年(2022年)8月29日まで	—

(4) 総合教育会議の開催状況及び審議内容

総合教育会議は、市長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、より一層民意を反映した教育行政を推進するため、平成27年度から設置しています。

令和3年度は、1回開催し協議内容は下記のとおりです。

会議名／期日	会場	協議	件 名
第1回総合教育会議 11月25日	市民交流センター 2階 多目的ホール	協議事項	アフターコロナの教育施策について

(5) 教育委員会会議の開催状況及び審議内容

教育委員会会議は、原則として毎月1回定例会を開催し、その他必要の都度臨時会を開催しています。

令和3年度は、定例会12回、臨時会3回の計15回開催し、審議内容は下記のとおりです。

会議名／期日	会場	議案／報告	件 名	審議の結果
4月定例会 4月23日	市役所4階 特別会議室	議案第1号	宮古市教育支援委員会委員の任命の 臨時専決処理に関し承認を求めること について	承認
		議案第2号	宮古市社会教育委員の解任及び任命 の臨時専決処理に関し承認を求めること について	承認

		議案第3号	宮古市スポーツ推進審議会委員の解任及び任命の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	承認
		議案第4号	宮古市北上山地民俗資料館運営委員の任命の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	承認
		議案第5号	宮古市文化財保存活用地域計画策定協議会要綱	原案可決
		議案第6号	令和3年度宮古市一般会計補正予算(第3号)に関する臨時専決処理に関し承認を求めることについて	承認
		報告第1号	宮古市奨学生選考委員会委員の任命について	—
		報告第2号	令和2年度第3回宮古市社会教育委員会会議の会議結果について	—
		報告第3号	令和2年度第2回宮古市立図書館協議会の会議結果について	—
5月定例会 5月25日	市役所4階 特別会議室	議案第7号	令和3年度宮古市一般会計補正予算(第6号)に関する臨時専決処理に関し承認を求めることについて	承認
		議案第8号	個人演説会等の開催のための設備の程度及び納付すべき費用の額を定めた告示の一部を改正する告示	原案可決
6月定例会 6月29日	市役所4階 特別会議室	議案第9号	宮古市社会教育委員の解任及び任命の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	承認
		報告第1号	宮古市議会定例会令和3年6月定例会議一般質問に係る答弁について	—
7月定例会 7月19日	市役所4階 特別会議室	議案第10号	令和3年度宮古市一般会計補正予算(第7号)に関する臨時専決処理に関し承認を求めることについて	承認
		議案第11号	教育財産の用途廃止に関し議決を求めることについて	原案可決
		報告第1号	令和3年度第1回宮古市社会教育委員会会議の会議結果について	—
8月定例会 8月25日	市役所4階 特別会議室	議案第12号	宮古市立学校の廃止に関し議決を求めることについて	原案可決
		議案第13号	令和2年度宮古市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況	原案可決

			に係る点検及び評価の実施に関し議決を求めることについて	
		議案第14号	令和4年度使用教科用図書（検定教科書及び著作教科書）の採択に関し議決を求めることについて	原案可決
		議案第15号	宮古市崎山貝塚縄文の森ミュージアム運営協議会委員の任命に関し議決を求めることについて	原案可決
		議案第16号	宮古市文化財保護審議会委員の任命に関し議決を求めることについて	原案可決
		報告第1号	宮古市文化財保存活用地域計画策定協議会委員の委嘱について	—
		報告第2号	令和3年度宮古市北上山地民俗資料館運営委員会の会議結果について	—
9月定例会 9月16日	市役所4階 特別会議室	議案第17号	令和3年度宮古市一般会計補正予算（第9号）に関する臨時専決処理に関し承認を求めることについて	承認
		議案第18号	宮古市社会教育委員の任命に関し議決を求めることについて	原案可決
		議案第19号	宮古市立図書館協議会の委員の任命に関し議決を求めることについて	原案可決
		議案第20号	宮古市スポーツ推進審議会の委員の任命に関し議決を求めることについて	原案可決
10月定例会 10月25日	市役所4階 特別会議室	議案第21号	教育財産の用途廃止に関し議決を求めることについて	原案可決
		議案第22号	宮古市崎山貝塚縄文の森ミュージアム運営協議会の委員の任命に関し議決を求めることについて	原案可決
		報告第1号	宮古市議会定例会令和3年9月定例会議一般質問に係る答弁について	—
11月定例会 11月22日	市役所5階 5－3会議室	議案第23号	宮古市立小中学校に就学すべき者の学校の指定に関する規則の一部を改正する規則	原案可決
		議案第24号	宮古市教育委員会公印規程の一部を改正する訓令	原案可決
		報告第1号	令和3年度第1回宮古市立図書館協議会の会議結果について	—
		報告第2号	令和3年度第1回宮古市文化財保護	—

			審議会の会議結果について	
		報告第3号	令和3年度宮古市崎山貝塚縄文の森ミュージアム運営協議会の会議結果について	—
		報告第4号	第1回宮古市文化財保存活用地域計画策定協議会の会議結果について	—
12月定例会 12月15日	市役所4階 特別会議室	議案第25号	令和3年度宮古市一般会計補正予算（第12号）に関する臨時専決処理に関し承認を求めることについて	承認
		議案第26号	令和3年度宮古市一般会計補正予算（第13号）に関する臨時専決処理に関し承認を求めることについて	承認
1月定例会 1月24日	市役所4階 特別会議室	議案第27号	教育財産の用途廃止に関し議決を求めることについて	原案可決
		議案第28号	宮古市立学校教員住宅規則の一部を改正する規則	原案可決
		議案第29号	宮古市学校運営協議会規則	原案可決
		報告第1号	宮古市議会定例会令和3年12月定例会議一般質問に係る答弁について	—
2月臨時会 2月9日	市民交流センター2階 多目的ホール	議案第30号	令和4年度宮古市教育行政方針に関し議決を求めることについて	原案可決
		議案第31号	令和4年度宮古市教育行政施策の方針及び重点を定めることに関し議決を求めることについて	原案可決
		議案第32号	令和4年度宮古市一般会計予算（教育関連予算）に関し議決を求めることについて	原案可決
		議案第33号	令和3年度宮古市一般会計補正予算（第17号）に関し議決を求めることについて	原案可決
2月定例会 2月16日	市役所4階 特別会議室	議案第34号	教育財産の用途廃止に関し議決を求めることについて	原案可決
		議案第35号	宮古市指定無形民俗文化財の指定に関し議決を求めることについて	原案可決
		報告第1号	第2回宮古市文化財保存活用地域策定協議会の会議結果について	—
		報告第2号	令和3年度第2回宮古市文化財保護審議会の会議結果について	—

3月臨時会 3月3日	市役所4階 特別会議室	議案第36号	令和4年度宮古市立小・中学校長等の人事の内申に関し議決を求めることについて	原案可決
3月臨時会 3月16日	市役所4階 特別会議室	議案第37号	令和3年度宮古市一般会計補正予算（第19号）に関する臨時専決処理に関し承認を求めることについて	承認
		議案第38号	教育委員会事務局職員等の人事異動に関し議決を求めることについて	原案可決
3月定例会 3月24日	市役所4階 特別会議室	議案第39号	宮古市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則	原案可決
		議案第40号	宮古市教育研究所規則の一部を改正する規則	原案可決
		議案第41号	宮古市教育財産管理規則等の一部を改正する規則	原案可決
		議案第42号	宮古市教育委員会代決専決規程の一部を改正する訓令	原案可決
		議案第43号	宮古市就学援助費支給要綱の一部を改正する告示	原案可決
		報告第1号	宮古市議会定例会令和4年3月定例会議一般質問に係る答弁について	—

（6）教育委員会に係る条例、規則、訓令の制定及び改正について

令和3年度における教育委員会に係る条例、規則、訓令の制定及び改正は、下記のとおりです。

《条例改正》

公布年月日	条例番号	件 名
令和3年 10月12日	宮古市条例 第27号	宮古市立学校条例の一部を改正する条例

《規則改正等》

公布年月日	規則番号	件 名
令和3年 11月26日	宮古市教育委員会 規則第4号	宮古市立小中学校に就学すべき者の学校の指定に関する規則の一部を改正する規則
令和4年 1月25日	宮古市教育委員会 規則第1号	宮古市学校運営協議会規則
令和4年 1月27日	宮古市教育委員会 規則第2号	宮古市立学校教員住宅規則の一部を改正する規則

令和4年 3月30日	宮古市教育委員会 規則第3号	宮古市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則
令和4年 3月30日	宮古市教育委員会 規則第4号	宮古市教育研究所規則の一部を改正する規則
令和4年 3月30日	宮古市教育委員会 規則第5号	宮古市教育財産管理規則等の一部を改正する規則

《訓令改正》

制定改廃年月日	訓令番号	件 名
令和3年 11月26日	宮古市教育委員会 訓令第3号	宮古市教育委員会公印規程の一部を改正する訓令
令和4年 3月30日	宮古市教育委員会 訓令第1号	宮古市教育委員会代決専決規程の一部を改正する訓令

3 施策別の主要事務の点検、評価

1 学校教育の充実

- ①確かな学力を育む教育の推進
- ②豊かな心を育む教育の推進
- ③健康な体を育む教育の推進
- ④特別支援教育の充実
- ⑤相談・支援体制の充実
- ⑥教育環境の充実
- ⑦学校施設・設備の充実
- ※学校教育の充実の総括

2 生涯学習の推進

- ①推進体制の充実
- ②学習環境の整備
- ③読書まち宮古の推進
- ④学校・家庭・地域の連携と協働
- ⑤家庭及び青少年の学習活動の支援
- ⑥成人の学習活動の支援
- ⑦生涯学習関係活動団体の支援
- ※生涯学習の推進の総括

3 スポーツ・レクリエーションの振興

- ①推進体制の充実
- ②指導者等の確保・育成
- ③活動機会の提供
- ④選手の育成強化
- ⑤スポーツ環境の整備
- ※スポーツ・レクリエーションの振興の総括

4 文化の振興

- ①芸術文化の推進
- ②文化財の保存と活用
- ③市史の継承
- ※文化の振興の総括

令和３年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施策	1	学校教育の充実	担当課名
基本事業	①	確かな学力を育む教育の推進	学校教育課
施策・基本事業の方向 ・学習の基盤をつくるため、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を進め、幼・小・中が連携しながら「確かな学力」を育む教育を推進します。			
事務事業費（令和３年度決算見込額）			21,712 千円
活動実績・成果			
[教育研究所運営事業] ・学校との連携を進め、教育課程や教材、教育指導技術等の調査研究を行い、教職員の資質向上を図った。教育研究所研究発表会において、実践の成果を各校に広めることができた。			
[学力向上事業] ・教員の指導力向上と児童生徒の学力向上を図るため、小中学校において教育研究、学力検査、調査研究等を行った。また、指導力向上を図るための研修会等を実施した。 ・小学生の学力向上のため放課後学習支援員を３人配置して、市内全１４校の小学校にて放課後の学習支援を行った。			
[総合学習推進事業] ・各学校の特色ある教育活動を通して、児童生徒が自ら考え行動する力の育成を図った。			

令和３年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施策	1	学校教育の充実	担当課名
基本事業	②	豊かな心を育む教育の推進	学校教育課
施策・基本事業の方向 ・ふるさと宮古に誇りを持ち、他人と協調し相手を思いやり、感謝する気持ちなど「豊かな心」を育む教育を推進します。			
事務事業費（令和３年度決算見込額）			46,550 千円
活動実績・成果			
[国際理解促進事業] ・小中学校にALTを５人派遣し、言語や文化に対する理解を深めるとともに、聞くこと、話すこと、読むこと、書くこと等について、コミュニケーション能力の基礎を育むことができた。			
[キャリア教育事業] ・水産課と連携し、「宮古の漁業見学・体験」を実施し、地元産業への理解を深めることができた。			
[子ども読書活動支援事業] ・学校図書館支援員を１１人配置し、小中学校図書館の環境整備、学校が行う図書関連行事、読書に関する啓発活動等を行い、児童生徒の読書に対する意識を高めることができた。			
[復興教育事業] ・「いわての復興教育」プログラムに基づき、「いきる」「かかわる」「そなえる」の３つの教育的価値を関連付けた活動をとおして、改めて自分の郷土のことを見つめ直した。			
[交流事業] ・「宮古市・室蘭市生徒交流事業」、「沖縄県多良間村交流事業」は、新型コロナウイルス感染防止の観点から中止した。沖縄県多良間村とは、山口小学校、田老第一小学校がオンラインで交流し、互いの郷土について紹介し合う活動を行った。			

令和３年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施策	1	学校教育の充実	担当課名
基本事業	③	健康な体を育む教育の推進	学校教育課、教委総務課
施策・基本事業の方向 ・生涯を通じて活力ある生活を送る基礎となる「健康な体」を育む教育を推進します。			
事務事業費（令和３年度決算見込額）			312,471 千円
活動実績・成果			
[宮古・JHSパワーアップ事業] ・中学校の部活動において、スクールバスの運行及び会場使用料の支援により、複数校での活動を推進し、適正人数に満たない部活動の活性化及び合同練習による技術等の向上を図った。			
[保健事業] ・児童生徒の健康管理のため、定期健康診断を実施した。 ・教職員の健康管理のため、定期健康診断、ストレスチェック等を実施した。 ・市内全小中学校で、学校歯科医の指示書のもと、安全に配慮しながらフッ化物洗口事業実施した。			
[学校給食] ・食材の地産地消に取り組み、安心・安全な学校給食を提供した。また、市内全小中学校の児童生徒を対象に食育指導を行った。			

令和３年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施策	1	学校教育の充実	担当課名
基本事業	④	特別支援教育の充実	学校教育課
施策・基本事業の方向 ・特別な支援を必要とする子どもに対し、適切な支援体制の継続を図ります。			
事務事業費（令和３年度決算見込額）			85,425 千円
活動実績・成果			
[幼児言語障害教育事業（ことばの教室）] ・「幼児ことばの教室」において、言語に障害や遅れがある就学前の子どもと保護者を対象に、発音の仕方や発達への不安等について、指導及び相談を行った。			
[特別支援教育事業] ・特別な支援が必要な児童生徒が在籍している小中学校に特別支援教育支援員（１３校：３５人）、介助員（２校：２人）を配置し、学校生活における支援や指導を行った。			

令和３年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施策	1	学校教育の充実	担当課名
基本事業	⑤	相談・支援体制の充実	学校教育課
施策・基本事業の方向 ・いじめや不登校などの事案に対して、関係機関と連携して対応していきます。災害により影響を受けた子どもに対し、長期的な心のケアを継続して行います。			
事務事業費（令和３年度決算見込額）			22,828 千円
活動実績・成果			
[教育相談事業] ・教育研究所に教育相談員を１人配置し、児童生徒本人や保護者からの相談（電話７件、面接４７件（オンライン活用相談含む。）、訪問３６件）を受けた。児童生徒の状況を細やかに把握することができ、相談事項については、学校訪問を行い指導の状況等を確認し、学校、サーモン教室及びその他関係機関と連携して取り組みを進めた。			
[不登校児童生徒支援事業（サーモン教室）] ・教育研究所内に「サーモン教室」を設置し、不登校児童生徒指導員３人を配置した。通級児童生徒に相談指導を行った。指導主事、学校との連携を図り、児童生徒の現状把握や「サーモン教室」の利用について、一人ひとりに応じた指導を行い、学校復帰や高校進学につなげることができた。			
[学校支援推進事業] ・学校支援員を配置し、学校の事情に応じた学習支援や生徒への対応がきめ細やかに行われ、学校生活の安定や基礎学力の向上に効果があった。 ・部活動指導員を配置し、教職員の勤務負担軽減及び多忙化解消に向けて取り組むことができた。			
[魅力ある学校づくり調査研究事業] ・不登校児童生徒に対する効果的な支援を行うため、宮古西中学校区をモデルとした調査研究を実施した。			

令和３年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施策	1	学校教育の充実	担当課名
基本事業	⑥	教育環境の充実	学校教育課
施策・基本事業の方向 ・複雑化、多様化する学校現場の課題解決に向け、保護者や地域が参画するコミュニティ・スクールを支援します。経済的な理由や地理的条件により就学が困難な子どもに対して援助や支援を行います。望ましい学校規模という視点で小中学校を適正に配置し、通学路の安全確保も含め子どもの教育環境の充実を図ります。			
事務事業費（令和３年度決算見込額）			266,880 千円
活動実績・成果			
[育英事業] ・経済的な理由で就学困難な者に対して奨学資金の貸付けを行った。			
[就学援助事業] ・経済的に就学困難な児童生徒の保護者に対して、国の援助に関する法律に基づき必要な援助を行った。また、新型コロナウイルス感染症の感染者又は濃厚接触者となり、出席停止措置を受けた児童生徒の保護者に対して学習支援費等の援助を行った。			
[就学事務事業] ・令和４年度の小学校入学予定者３３３人に対し、健康診断及び知能検査を実施した。			
[特別支援教育就学奨励事業] ・特別支援学級の児童生徒の保護者に対して、その負担能力に応じて必要な経費（学用品費、修学旅行費及び学校給食費）の補助を行った。			
[教育助成事業] ・小中学校の文化・体育活動及び教育関係団体の小規模・複式学校教育研究会に対して補助を行った。 ・交通機関利用以外の遠距離通学の児童生徒を持つ家庭に対し、１世帯あたり３万円の助成を行った。			
[児童生徒通学委託事業] ・遠距離通学者（通学距離片道４ｋｍ以上の小学生、片道６ｋｍ以上の中学生）の利便を図るため、スクールバス、タクシーによる登下校の送迎を実施し、小学生２１３人、中学生１０５人が利用した。			

令和３年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施策	1	学校教育の充実	担当課名
基本事業	⑦	学校施設・設備の充実	学校教育課、教委総務課
施策・基本事業の方向 ・子ども一人ひとりの情報活用能力を向上させるため、環境の整備や適切な情報の選択・活用と同時に、犯罪の未然防止に取り組みます。安全で適正な学習環境を確保するため、学校施設の改善を推進します。			
事務事業費（令和３年度決算見込額）			859,737 千円
活動実績・成果			
[小中学校維持管理事業] ・小中学校施設の維持管理を行うとともに、児童の教育環境の改善を図るため、宮古小学校マルチホール上部屋根改修工事、千徳小学校バリアフリー化工事、河南中学校擁壁改修工事、小中学校トイレ洋式化工事等を行った。			
[手洗器自動水栓化事業（新型コロナ）] ・新型コロナウイルス感染症対策として、既存の手洗水栓を自動水栓に改修する工事を行った。			
[施設等災害復旧事業（元年台風19号）] ・令和元年台風19号により被災した磯鶏小学校校庭の法面の災害復旧工事を行った。			
[教材等整備事業] ・小中学校の消耗品、備品、学校図書、理科教育備品等の教材を整備し、学校教育の充実に図った。			
[教育用コンピュータ整備事業] ・児童生徒の情報教育を推進するため、教育用コンピュータ等の整備を行った。 ・ICT機器の活用に伴い、ネットワーク環境の調査・改善を図った。			

令和３年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施策	1	学校教育の充実	担当課名
基本事業	－	－	学校教育課、教委総務課
施策・基本事業の方向 ・新型コロナウイルス感染症による影響への対策として、学校図書の実、感染予防に係る衛生用品や備品を購入します。在宅での学びに対応するため、学校の情報通信ネットワーク環境の整備を行います。 ・教育委員会の活動内容を広く市民に周知するため、宮古市教育委員会だよりを発行します。 ・宮古市の子どもを対象にした「確かな学力」「豊かな心」「健康な体」を育むために実施する市内で活動する個人、団体等に対し、教育振興基金を活用した「生きる力を育む事業補助金」を交付します。 ・東日本大震災により保護者が死亡し、又は行方不明となった児童生徒に対し、東日本大震災教育支援金を支給します。			
事務事業費（令和３年度決算見込額）			70,746 千円
活動実績・成果			
[教育用コンピュータ整備事業（新型コロナ）] ・新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休業等においても児童生徒の学びを保障できる体制をつくるため、学校の情報通信ネットワークの環境整備を行った。			
[感染症対策等学校教育活動継続支援事業（新型コロナ）] ・児童生徒の新型コロナウイルス感染予防のため、消毒液、ペーパータオル、空気清浄機、非接触式検知器等を購入した。			
[広報「宮古市教育委員会だより」の発行] ・宮古市教育委員会だよりは、広報みやことともに年２回（８月、１月）、市内全世帯に配布し、市ホームページでも発信した。			
[教育振興基金事業「生きる力を育む事業補助金」] ・市内で活動の拠点がある７団体に対し、教育振興基金を活用した事業費の補助を行った。			
[東日本大震災教育支援金事業（震災対応分）] ・震災で保護者を亡くした児童生徒（延べ２０人）に対し、支援金及び定期金を支給した。			
[大学生修学継続支援事業（新型コロナ）] ・新型コロナウイルス感染症の影響により、修学継続が困難となっている大学等の学生６８８人に対し、１人５万円の支援金を支給した。			

「学校教育の充実の総括」

① 確かな学力を育む教育の推進

- ・児童生徒の学習の基盤をつくるため、主体的・対話的で深い学びの機会をさらに充実させるには、「指導と評価の一本化」の実現に向けた授業改善を図っていく必要があります。
- ・教職員の資質向上を図るため、教育課程、教材、教育指導技術等の調査研究を行ってまいります。今後は、ＩＣＴ機器の効果的な活用が各学校において実践されるよう、ＩＣＴ支援員を活用し支援を行っていく必要があります。
- ・教員の指導力向上と児童生徒の学力向上を図るため、小中学校において教育研究、学力検査、調査研究等を行いました。引き続き児童生徒の実態を適切に捉え、教員が授業改善を図っていけるよう支援し、研修会等を開催してまいります。

② 豊かな心を育む教育の推進

- ・学校図書館支援員を活用し、学校が行う図書関連行事、読書に関する啓発活動等を行うとともに、学校図書館の環境整備をしていく必要があります。
- ・外国語指導助手を活用して、言語や異文化に対する理解を深めるとともに、コミュニケーション能力の基礎を育みながら、自尊感情を高める教育の充実を図っていく必要があります。

③ 健康な体を育む教育の推進

- ・児童生徒の体力や健康状態等を把握し、学校での教育活動や中学校の部活動の複数校での活動を推進し、適正人数に満たない部活動の活性化及び合同練習による技術等の向上を図ってまいります。
- ・児童生徒の保健管理を徹底するため、市内全小中学校において、安全に配慮しながら食生活の指導及び口腔衛生を実施してまいります。

④ 特別支援教育の充実

- ・支援が必要な児童生徒が、個々の状況に合った支援を受けるため、学校に特別支援教育支援員及び介助員を配置しております。今後も児童生徒の実情に合わせた支援体制を継続する必要があります。

⑤ 相談・支援体制の充実

- ・教育研究所を中心に教師、児童生徒及び保護者に対する相談活動を実施するとともにこども発達支援センターやスクールカウンセラー、医療、福祉などの専門機関と連携した細やかな対応を行ってまいります。
- ・学校支援員を配置し、一人ひとりに応じた指導を行うことで中学生の学校生活の安定を図ってまいります。また、部活動指導員を配置し、引き続き教員の勤務負担軽減と部活動指導の指導体制の充実を図ってまいります。
- ・教育相談員及び適応教室指導員を配置し、子どもの不登校や問題行動などに適切に対処し、家庭、地域及び関係機関との連携による教育相談体制の充実に努めてまいります。
- ・「宮古市いじめ防止基本方針」や各学校においての「いじめ防止基本方針」に従い、いじめ問題への対策のための組織的対応を促し、迅速かつ適切にいじめ問題等に対応

してまいります。

- ・宮古西中学校区を中心として「魅力ある学校づくり」を展開し、各小中学校にはその実践を周知しながら、各中学校区における小小連携、小中連携を充実させるよう努めてまいります。

⑥ 教育環境の充実

- ・就学援助による経済的援助の推進を図ることができました。
- ・運動部、文化部における児童生徒の大会出場への補助を行うことで、活動の後押しをするとともに、保護者の経済的負担を軽減することができました。
- ・スクールバス及びタクシーの運行により、遠距離通学児童生徒への利便が図られ、児童生徒及び保護者の通学に対する負担や不安を軽減することができました。
- ・児童生徒を取り巻く環境が大きく変化する中、家庭の経済的理由等により左右されることのないよう、学びを支える教育環境の充実を図ってまいります。

⑦ 学校施設・設備の充実

- ・児童生徒がよりよい教育環境で学習ができるよう、小中学校の消耗品、備品、学校図書等を整備し、教材の充実を図りました。
- ・令和3年度は、教育用コンピュータ等（タブレット端末）の整備を行いました。ICT機器を活用した情報教育を推進してまいります。
- ・児童生徒の安心、安全のため、老朽化が著しい施設の改修及び設備等の更新を行いながら適切な維持管理を図ってまいります。

令和３年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施策	2	生涯学習の推進	担当課名
基本事業	①	推進体制の充実	生涯学習課
施策・基本事業の方向 ・関係機関・団体等との連携による「宮古市生涯学習推進本部」及び「宮古市生涯学習推進会議」を中心に、いつでも、どこでも、だれでも学習できる環境づくりを進めます。			
事務事業費（令和３年度決算見込額）			205 千円
活動実績・成果			
[生涯学習推進体制整備事業] ・庁内で組織する生涯学習推進本部等により、生涯学習の推進を図った。			
[リーダーバンク事業] ・経験及び専門知識を有する指導者を登録し、市民団体等からの要請に応じて指導者との連絡調整を行った。			
[生涯学習情報提供事業] ・生涯学習関連の催しを掲載する市民カレッジニュースを毎月５８０部発行した。			
[生涯学習相談体制整備事業] ・市民の自主的な学習を支援するために、学習機会や学習の場に関する相談に対応した。			
[生涯学習ボランティア育成・活動推進事業] ・生涯学習ボランティア養成講座を行い、人材の育成を図った。			

令和３年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施策	2	生涯学習の推進	担当課名
基本事業	②	学習環境の整備	生涯学習課
施策・基本事業の方向 ・社会教育関連施設を計画的に改修等するとともに、施設間のネットワークを充実させ、市民の多様化、高度化する学習ニーズに対応する学習機会の充実を図ります。			
事務事業費（令和３年度決算見込額）			25,487 千円
活動実績・成果			
[社会教育関連施設整備事業] ・中央公民館分館雨漏修繕工事、千徳公民館及び重茂公民館のトイレ修繕工事、図書館昇降機改修工事等の施設整備を行った。			

令和３年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施策	2	生涯学習の推進	担当課名
基本事業	③	読書まち宮古の推進	生涯学習課
施策・基本事業の方向 ・幅広い世代の市民が気軽に読書に親しむ「読書まち宮古」を推進します。あらゆる市民が本に親しむ拠点として、さらなる図書館サービスの充実を図ります。ブックスタート事業等の読み聞かせ活動の充実や、読書習慣の形成に向けた取り組み等、数多くの本との出会いを支援します。			
事務事業費（令和３年度決算見込額）			85,609 千円
活動実績・成果			
[図書館運営事業] ・図書資料を充実させるため、蔵書を増やした。エアコン室内機の修繕等を行い、利用しやすい環境づくりに努めた。			
[子ども読書活動支援事業] ・乳幼児の心と言葉を育む「ブックスタート事業」を実施し、乳幼児期から読書に親しむ環境の充実に努めた。本の読み聞かせを行うおはなし会は、市内の新型コロナウイルス感染症の感染状況を見ながら実施した。			
[読書まち宮古推進事業] ・コロナ禍で「おうち時間」が増えたことから、市民の読書環境を向上させるため、新刊図書を増やした。			

令和３年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施策	2	生涯学習の推進	担当課名
基本事業	④	学校・家庭・地域の連携と協働	生涯学習課
施策・基本事業の方向 ・「地域とともにある学校」「学校を核とした地域」をつくるため、コミュニティ・スクールを推進するとともに、学校・地域・家庭が一体となった地域学校協働活動の充実を図ります。			
事務事業費（令和３年度決算見込額）			4,791 千円
活動実績・成果			
[コミュニティ・スクール推進事業] ・地域学校協働活動推進員を中心として、市内６校が地域学校協働活動に取り組んだ。			
[教育振興運動支援] ・田老、新里、川井の各実践区において、地域ぐるみで子どもを育てる教育振興運動を支援した。			
[３者合同大会「３ライズ・ミーティング」] ・学校保健会、市ＰＴＡ連合会及び教育委員会の３者共催で取り組む「３ライズ・ミーティング」は、参集形式の大会を開催する代わりに、宮古市教育委員会だよりに３者の活動を紹介する記事を掲載した。			

令和３年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施策	2	生涯学習の推進	担当課名
基本事業	⑤	家庭及び青少年の学習活動の支援	生涯学習課
施策・基本事業の方向 ・家庭、地域の教育力の向上を図るため、子育てなどに関する学習機会の提供や相談体制づくりを進めます。心豊かな青少年を育成するため、社会全体で子どもを育てる環境づくりを支援します。			
事務事業費（令和３年度決算見込額）			1,237 千円
活動実績・成果			
[乳幼児期家庭教育学級] ・子育てに役立つ知識の習得と、親同士が交流をきっかけに悩みの解決手法や情報交換をする場を提供するため、乳幼児期家庭教育学級を年６回開催し、延べ９３人が参加した。			
[幼児期家庭教育学級] ・幼稚園、保育所等において行われる家庭教育学級の実施を支援する事業は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、利用実績が無かった。			
[小・中学校期家庭教育学級] ・小中学校において行われる家庭教育学級の実施を支援した。９学級（５１５人）が家庭教育について学びを深めた。			
[高校生ふれあい体験事業] ・次世代を担う高校生が、乳幼児とふれあい子育てを学び体験する高校生ふれあい体験事業は、新型コロナウイルス感染防止の観点から中止した。			
[青少年体験学習推進事業] ・校外でのさまざまな体験を通じて健やかにたくましい青少年を育む学習機会を提供した。			
[世代間交流事業] ・伝統文化の伝承や地域の実践活動等を通じて子どもと高齢者の世代間の交流を図る事業は、新型コロナウイルス感染防止の観点から中止した。			
[放課後子ども教室推進事業] ・放課後の安心、安全な居場所づくりのため、川井地区の小学生低学年を対象に放課後子ども教室を年間１０９日開設した。			

令和３年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施策	2	生涯学習の推進	担当課名
基本事業	⑥	成人の学習活動の支援	生涯学習課
施策・基本事業の方向 ・多様化する学習ニーズに応えるため、生涯を通じた学習機会の提供を行うとともに、生涯学習を通じて地域コミュニティを支える人材の確保・育成を図ります。			
事務事業費（令和３年度決算見込額）			3,289 千円
活動実績・成果			
[成人式事業] ・新型コロナウイルス感染対策を徹底したうえで開催した。密を避けるため、参列は新成人とその家族ひとりまでとし、式典の様子は YouTube で生配信した。317 人の新成人が出席し、出席率は約 56 % であった。			
[成人学習活動促進事業] ・市民の多様化・高度化するニーズに応えるため、公民館及び生涯学習センターにおいて講座及び教室を企画のうえ実施した。			
[高齢者学習活動促進事業] ・高齢者が心豊かに生きがいをもって生活することができるよう講座及び教室を企画したが、新型コロナウイルス感染防止の観点から、多くの講座等を中止した。			
[世代間交流事業]（再掲） ・伝統文化の伝承や地域の実践活動等を通じて子どもと高齢者の世代間の交流を図る事業は、新型コロナウイルス感染防止の観点から中止した。			
[みやこ市民カレッジ運営事業] ・公民館及び生涯学習センターで行う講座等のほか、地域創生センターで行われる講座等を市民カレッジニュースに取り上げ、情報提供を行った。			

令和３年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施策	2	生涯学習の推進	担当課名
基本事業	⑦	成人学習関係活動団体の支援	生涯学習課
施策・基本事業の方向 ・生涯学習活動や地域づくり活動を行う団体等に対して、継続的な活動と活性化が図られるよう助言や支援を行います。これらの団体と連携して、多様化する市民の価値観や学習ニーズに対応した学習機会の提供を図ります。			
事務事業費（令和３年度決算見込額）			422 千円
活動実績・成果			
[生涯学習関係団体育成事業] ・宮古市地域婦人団体協議会が行う事業を支援するため、事業費補助金を交付した。			
[生涯学習講師派遣事業] ・市民グループ等 9 団体に延べ 2 0 回の講師派遣を行い、延べ 2 0 8 人の自主学習を支援した。			
[出前講座（まちづくりふれあい講座）] ・全 7 3 講座を企画し、市民グループ等 2 2 団体（延べ 6 6 2 人）が、延べ 2 5 講座を活用し、意欲的に学びを深めた。			

「生涯学習の推進の総括」

① 推進体制の充実

- ・ 庁内各部署で実施する事業のうち、生涯学習につながっている事業が様々あります。事業の連携や統合・共同実施により、効率的・効果的に進めることができるものは積極的に連携等を進める必要があります。

② 学習環境の整備

- ・ 社会教育施設の老朽化が進んでいます。国の補助金などの財源を確保しながら計画的に改修工事を進めていく必要があります。

③ 読書まち宮古の推進

- ・ 蔵書を増やし施設の維持修繕を行い、利用しやすい環境づくりに努めています。

④ 学校・家庭・地域の連携と協働

- ・ コミュニティ・スクールの設置の努力義務化を踏まえ、学校・地域・家庭が一体感を持ち、より良い関係を築いていくとともに、地域学校協働活動の取り組みをさらに広げていく必要があります。

⑤ 家庭及び青少年の学習活動の支援

- ・ 新型コロナウイルス感染防止の観点から、講座や教室など各種の自主事業は定員を抑えて実施しました。
- ・ 旧市町村地域ごとに行ってきた家庭教育学級は、少子化の影響で参加者が減少しています。参加者の確保に苦慮している地域もあり、家庭教育事業の在り方を検討する必要があります。

⑥ 成人の学習活動の支援

- ・ 公民館事業において、市民が自主的・自発的に学習成果を発表する機会として、舞台発表会を継続して実施していく必要があります。
- ・ 20歳を迎える方々を祝い、励ますとともに、郷土の再認識及び社会参加意識の啓発を図るため、成人式を継続して実施していく必要があります。

⑦ 生涯学習関係活動団体の支援

- ・ 新型コロナウイルス感染防止の観点から、講師派遣事業及び出前講座を活用して自主的に学ぼうとする市民グループは例年より少なかったが、学びを支援するため、引き続き実施していく必要があります。

令和３年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施策	3	スポーツ・レクリエーションの振興	担当課名
基本事業	①	推進体制の充実	生涯学習課
施策・基本事業の方向 ・健康寿命の延伸、障がい者スポーツなどへの関心の高まりに対応するため、関係団体と連携し、生涯スポーツの推進体制の充実を図ります。スポーツツーリズムによる交流人口の拡大に向けて、合宿等の誘致を推進します。			
事務事業費（令和３年度決算見込額）			15,683 千円
活動実績・成果			
[スポーツ・レクリエーション推進体制整備事業] ・市民のスポーツ・レクリエーションの意識の高揚を図るため、スポーツ推進員の派遣、会議を実施した。一般財団法人宮古市体育協会が行う活動を支援し、スポーツ・レクリエーションの推進を図った。 ・日本体育大学との「体育スポーツ振興協定」を活用し、「宮古市健康長寿を実践するための５カ条」を日本体育大学の横山順一教授の提案により令和２年度に制定している。令和３年度は、提案者である日本体育大学の横山順一教授にオンライン講演会を開催していただき、健康長寿の実践について推進を図った。			
[スポーツ・レクリエーションの情報発信] ・スポーツイベント等の情報を広報みやこやホームページを通じて発信した。令和３年度は、世界的なスポーツイベントである東京２０２０オリンピック、パラリンピック競技大会が開催された。オリンピックの聖火リレーやパラリンピックの聖火フェスティバルやホストタウンの相手国であるナミビア共和国、シンガポール共和国のオリンピック、パラリンピアン大会の試合予定や成績等の情報発信を行い、相手国を応援することで復興への感謝を伝える機会を創出した。			
[スポーツツーリズム推進事業] ・合宿補助金を交付することによりスポーツを通じた交流人口の拡大を推進した。オンラインでの首都圏の大学との合宿相談会に参加し、合宿誘致の推進を図った。 ・令和２、３年度と新型コロナウイルス感染症の影響により、早稲田大学応援部の合宿が延期となっているが、令和４年度に再々延期となった。			

令和３年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施策	3	スポーツ・レクリエーションの振興	担当課名
基本事業	②	指導者等の確保・育成	生涯学習課
施策・基本事業の方向 ・市民の多様化する要望に応えるため、指導者の育成やスポーツリーダーバンクの充実による指導者の確保を図ります。協定を締結した大学等と連携しながら、指導力の向上を図る研修会等に取り組みます。			
事務事業費（令和３年度決算見込額）			12,894 千円
活動実績・成果			
[指導者養成研修事業] ・日本体育大学との「体育スポーツ振興協定」に基づく指導者も参加できる委託事業である「ジュニアスポーツ育成ドリームキャンプ」は、首都圏への移動を伴うことから令和３年度は当初から休止とした。また、「陸上競技選手育成強化支援」は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。			
[スポーツ推進委員研修事業] ・新型コロナウイルス感染症の影響から開催回数を少なくせざるを得ない状態であったが、スポーツ推進委員のニュースポーツ研修会等を開催した。 研修会の内容は、令和４年度に宮古地域で開催される岩手県スポーツ推進委員研修会の実技研修の種目であるシーカヤックを体験した。			

令和３年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施策	3	スポーツ・レクリエーションの振興	担当課名
基本事業	③	活動機会の提供	生涯学習課
施策・基本事業の方向 ・ライフステージに応じた競技会、生涯スポーツ及びスポーツ・レクリエーション活動を推進します。若者に関心が高いエクストリームスポーツ、スポーツクライミング、自然を活用したスポーツ等、新しい分野のスポーツについて、体験する活動を関係機関と連携のうえ提供します。各種大会等を開催するほか、スポーツ・レクリエーション団体の支援、総合型地域スポーツクラブの育成・普及を図ります。			
事務事業費（令和３年度決算見込額）			24,302 千円
活動実績・成果			
[スポーツ・レクリエーション活動支援事業] ・宮古サーモン・ハーフマラソン特別大会の開催に対して補助を行った。 ・「海の日」宮古港カッターレースの開催に対して補助を行った。 ・世界的スポーツイベントである東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の宮古市での聖火リレー（オリンピック）において、第1走者を市内の高校生が、最終ランナーを中学生が務め被災地の感謝の気持ちを伝えた。聖火フェスティバル（パラリンピック）は、被災4地区の中学生が、「みやこ復興の火」として火おこしによる採火を行った。市内の中学生が、岩手県の33市町村の火が集まる集火式へ「みやこ復興の火」を届ける取り組みを行った。世界的なスポーツイベントに次世代を担う子ども達が参加し、被災地からの感謝と復興へ力強い思いを伝える機会となった。			
[活動機会の提供] ・地域住民が日常的にスポーツ・レクリエーションを親しむ場として、小中学校の体育施設を開放した。 ・一般財団法人宮古市体育協会へ補助金の支援を行い、各競技団体の大会開催、教室開催等の振興を図った。なお、「小学生ドッジボール大会」は無観客での開催、「小学生縄跳び大会」は、各学校で測定を約1か月の期間内で行い順位を決する特別大会での開催として実施した。 ・スポーツチャレンジ事業の高田延彦氏の高田道場による「高田式体育教室ーダイヤモンドキッズカレッジー」は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止した。			
[総合型地域スポーツクラブ育成・普及] ・総合型地域スポーツクラブの制度の改定に伴う研修会等に参加し、総合型地域スポーツクラブの登録制度に係る情報交換を行った。			

令和３年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施策	3	スポーツ・レクリエーションの振興	担当課名
基本事業	④	選手の育成強化	生涯学習課
施策・基本事業の方向 ・トップチーム、トップ選手の高度の技術や施設に触れる機会を提供することで、選手の意欲増進と競技力の向上を図ります。各団体が行う講習会や上位大会に進出した選手・チームの大会参加に対して支援を行います。			
事務事業費（令和３年度決算見込額）			12,894 千円
活動実績・成果			
[スポーツ選手育成強化事業] ・各種競技協会における育成強化事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により事業数が減少し、２団体の実施であった。なお、陸上競技選手育成強化支援事業については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。			
[スポーツ少年団活動等支援事業] ・全国大会に出場する選手等（１４件）に賞賜金を交付した。児童生徒のスポーツ活動の振興を図るため、宮古市児童生徒大会等参加費補助金により選手等（１０件）に支援を行った。			
[指導体制の充実] ・新型コロナウイルス感染症の影響により、日本体育大学と連携による「ジュニアスポーツ育成ドリムキャンプ事業」や「陸上競技選手育成強化支援事業」は中止した。			

令和３年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施策	３	スポーツ・レクリエーションの振興	担当課名
基本事業	⑤	スポーツ環境の整備	生涯学習課
施策・基本事業の方向 ・生涯にわたりスポーツ・レクリエーションに親しむことができるよう、体育施設を適切に維持管理します。老朽化した体育施設については、計画的に改修などを行います。			
事務事業費（令和３年度決算見込額）			192,514 千円
活動実績・成果			
[体育施設改修事業] ・生涯学習課が管理する体育施設において、維持管理に伴う修繕等を実施した。			
[多様化するニーズに対応する活動支援] ・野外活動センターの利活用において、地域とのワークショップを行い野外活動センターの建物の利活用に係る取り組みを実施した。			
[学校施設の開放事業] ・小学校（１４校）、中学校（１１校）で学校開放事業を行い、年間 91,958 人の利用実績があった。			

「スポーツ・レクリエーションの振興の総括」

① 推進体制の充実

- ・一般財団法人宮古市体育協会、スポーツ推進委員、協定を締結している大学と連携・協働した推進体制を継続していますが、健康寿命の延伸に係る取り組みとして、コロナ禍により団体で集まっての取り組みがしにくい状況にあることから、個人で健康づくりが楽しめる都市公園の健康遊具の利活用や体育協会で実施している各種教室等、関係部局・団体との更なる連携が必要です。
- ・スポーツイベントによる交流人口の拡大において、スポーツイベント等を支えるボランティアの確保が必要です。
- ・「宮古市健康長寿を実践するための5カ条」の実践に向けて、「シルバーリハビリ体操」を実施している団体等と連携を進めます。

② 指導者等の確保・育成

- ・スポーツ推進委員の研修会をはじめ、一般財団法人宮古市体育協会による指導者講習会等により市内のスポーツ少年団等の指導者の資質向上を継続して行っていますが、未来を担う指導者の育成を進める必要があります。
- ・ジュニアスポーツ等の指導者の研修会において、協定を締結している大学を活用した取り組みが考えられますが、新型コロナウイルス感染症の状況を注視して実施する必要があります。オンラインで講演会開催を行った実績を生かして推進します。
- ・協定締結をしている大学のほかに、岩手県が行っている指導者への研修等も活用し指導者の育成を推進します。

③ 活動機会の提供

- ・宮古市を代表する親水空間である宮古港を活用した「宮古港カッターレース」を市外や県外から多くの参加者が集まる大会と位置付け推進する必要があります。
- ・宮古市野外活動センターの活用について、田代地区の地域住民や宮古市の関係部署と連携しながら、市民農園、農産物加工施設、旧亀岳小学校も含めた田代地区の振興を図る活用方針を検討します。

④ 選手の育成強化

- ・賞賜金や大会参加補助金による支援を継続して行い、大会参加を継続して支援します。
- ・首都圏の大学との体育スポーツ振興に関する協定に基づいた「ジュニアスポーツ育成ドリームキャンプ事業」による首都圏の大学での施設体験や研修事業は、感染対策等に留意し事業実施を行います。
- ・市内の競技団体に対して、一般財団法人宮古市体育協会を介して育成強化に係る事業を展開します。

⑤ スポーツ環境の整備

- ・老朽化した体育施設、備品等については、宮古市公共施設再配置計画（実施計画）に基づき、計画的な改修を行います。

令和３年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施策	4	文化の振興	担当課名
基本事業	①	芸術文化の推進	文化課
施策・基本事業の方向 ・市民文化会館を芸術文化活動の拠点施設と位置づけ、多くの市民が参加する市民文化祭や市民劇など市民文化会館が実施する事業を通して、市民の自主的、創造的な芸術文化活動を推進します。芸術文化団体の基盤強化や人材育成の観点から、これらの団体が行う芸術文化活動を支援します。			
事務事業費（令和３年度決算見込額）			187,981 千円
活動実績・成果			
[市民文化会館管理事業] ・市民の芸術文化の拠点施設である市民文化会館について、指定管理者制度により効果的、効率的な管理運営を行った。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により事業実施が困難な状況の中でも、感染防止対策を徹底することにより、団体鑑賞事業や市民芸能まつり、みやこ郷土芸能祭、岩手芸術祭巡回美術展等概ね当初計画どおりの事業が行われた。			
[文化振興一般事業] ・芸術文化を通じて市民に安らぎを与え、心を癒す役割を果たす事業を実施した。 宮古市所蔵絵画展、岩手芸術祭小中学校巡回美術展、東北みやこ寄席、親子落語ワークショップ ・みやこ市民文化祭については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。			
[文化振興一般事業【震災対応分】] ・被災地復興支援に取り組む演奏家によるコンサートを開催した。 佐渡裕&スーパーキッズ・オーケストラ公演			
[心の復興事業【震災対応分】] ・多くの市民に芸術文化鑑賞の機会を提供し、震災からの「心の復興」を推進するため、みやこ復興寄席を開催した。			

令和３年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施策	4	文化の振興	担当課名
基本事業	②	文化財の保存と活用	文化課
施策・基本事業の方向 文化財保護法の一部改正に伴い、文化財保存活用地域計画の策定に取り組みます。市内の多種多様な文化財を、次の世代まで保存・継承を図るために、崎山貝塚縄文の森ミュージアムと北上山地民俗資料館並びに小国分館及び埋蔵文化財センターを拠点とし、文化財の調査・研究・公開に取り組みます。民俗芸能については、伝承団体への支援を継続するとともに、学校活動も含めた地域文化の映像記録保存に取り組みます。			
事務事業費（令和３年度決算見込額）			84,681 千円
活動実績・成果			
[指定文化財保存・管理事業] - 市指定文化財の環境整備や現況確認、文化財収蔵資料の保存管理を行い、さらに文化財の保存・活用について意見を聴取するために１０月と２月に文化財保護審議会を開催した。 「南部木挽唄」の調査・研究を行い、宮古市文化財保護審議会に諮った上で、令和４年２月１６日に市指定無形民俗文化財として指定した（上記に含む）。 - 宮古市文化財保存活用地域計画の作成作業に着手し、策定協議会や公開講座等を開催した。			
[民俗芸能記録保存事業] 新型コロナウイルス感染症の影響により芸能団体の活動も縮小されたが、行われた芸能と祭礼行事（５件）を収録した。			
[埋蔵文化財調査事業] - 個人住宅等の建築に伴う発掘調査を１件、試掘調査を５件実施し、これら全ての調査を期間内に終えることができた。 - 墓目埋蔵文化財収蔵庫の維持管理を行い、近内中村遺跡調査報告書刊行のための資料整理作業を進めた。			
[文化財公開・活用事業] 文化財に対する市民の理解を深めるために、崎山貝塚縄文の森ミュージアムを拠点として、企画展や各種講座・イベントを行った。令和３年度の入館者数は４,４５８人、縄文体験者数は９１１人であった。			
[崎山貝塚縄文の森公園管理事業] 崎山貝塚縄文の森公園の草刈りなどの環境整備を随時行い、さらに崎山貝塚縄文の森公園複合施設の各種点検業務を行うことで適切な維持管理を行った。			
[北上山地民俗資料館管理運営事業] 国指定重要有形民俗文化財「北上山地川井村の山村生産用具コレクション」１,３４５点を含む、宮古市収集の有形民俗資料についての理解を深めるために、市民を対象として各種体験講座や企画展を行った。令和３年度の入館者数は１,６５２人、郷土食作り			

講座や昔の技術での小物作り等の体験参加者数は261人である。また、展示施設の維持管理や国指定重要有形民俗文化財を含む所蔵資料の保存管理についても適切に行った。

令和3年度点検及び評価表			
宮古市教育振興基本計画（2020-2024）			
施策	4	文化の振興	担当課名
基本事業	③	市史の継承	文化課
施策・基本事業の方向 ・古文書などを収集、保存し、市史資料として後世に継承するとともに、その公開や活用を推進します。			
事務事業費（令和3年度決算見込額）			3,210 千円
活動実績・成果			
[市史編さん事業] ・盛合家文書の目録作成及び東屋文書の整理・コピーを継続して行った。 ・川内の永田家文書の資料提供を受け、整理・コピーをして返却した。			

「文化の振興の総括」

① 芸術文化の推進

- ・市民の芸術文化活動の拠点施設である市民文化会館の管理運営については、指定管理者の専門性を生かした事業実施により、効果的で効率的な運営を行いました。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響を受けている市内の芸術文化団体等には、文化課内に設置した相談窓口を通し、継続して活動を支援していく必要があります。

② 文化財の保存と活用

- ・未指定を含む文化財等を後世に継承するために、各種文化財等の現状把握及び公開活用を行いました。さらに令和5年度までに策定する宮古市文化財保存活用地域計画の策定に着手し、策定協議会や公開講座、地域住民聞き取り調査を行いました。
今後は計画的に保存・活用の施策を遂行することで、郷土への愛着を深めていく必要があります。
- ・崎山貝塚縄文の森ミュージアム及び北上山地民俗資料館では、市民や観光客向けに様々な企画展示や体験学習、イベント、講座等を実施しました。
今後は、SNSを活用した情報発信や市内施設及び地域の学校との連携など、様々なつながりを重視した運営を展開していく必要があります。
- ・郷土芸能の伝承地域で過疎化が加速しており、伝承困難な地域を優先して記録保存を進めます。

③ 市史の継承

- ・石碑や神社仏閣の見学など文化財に対する関心の高まりもうかがわれ、今後も古文書など様々な文化財を地域の文化遺産として継承及び顕彰する取り組みを進める必要があります。

4 学識経験者の意見

(1) 宮古地区退職校長会事務局長 裊岩敏雄氏の意見

総合教育会議の開催状況及び審議内容について、適正に公開で開催され、重要な内容で協議されたことを確認しました。

教育委員会会議の開催状況及び審議内容について、定例会、臨時会とも適正に審議されたことを確認しました。

学校教育の充実

ア 放課後学習支援員3人（令和2年度2人）を配置し、市内全小学校（令和2年度10校）での放課後学習支援が行われ、学習支援の充実が図られています。

イ 小中学校では、ALT5人の派遣により、コミュニケーション能力の基礎を育まれており、「外国語活動」、「外国語」教育が充実することを期待します。

ウ 学校図書館支援員11名を配置し、児童生徒の読書に対する意識が高められました。

エ 新型コロナウイルスで交流事業は中止となりましたが、多良間村とのオンライン交流など工夫されていました。

オ 市内全小中学校でフッ化物洗口事業が実施され、虫歯予防の効果が期待されます。

カ 学校給食では、食材の地産地消の取り組みや全小中学校での食育指導の実施等、充実しています。

キ 「幼児ことばの教室」は、就学前の子どもと保護者にとって大切な事業となっています。

ク 特別支援教育支援員35人、介助員2名の配置により、支援が充実しています。

ケ 「サーモン教室」は学校とよく連携し、児童生徒の学校復帰と高校進学につなげ、成果をあげています。教育相談員による「教育相談事業」も連携が図られています。

コ 部活動指導員の配置により教職員の勤務負担軽減、多忙化解消に向けての取り組みが進んでおり、さらに配置が増えることを期待します。

サ 小中学校トイレ洋式化工事や、コロナ対策で手洗水洗の自動水洗改修など、学習環境や学校安全に配慮されています。

シ 教育用コンピュータ整備が進み、ICT教育が充実してきています。

ス 「教育委員会だより」は、全世帯配布、HP発信で宮古の教育の理解に役立っています。

セ 大学生修学継続支援事業（新型コロナ）で多くの学生（688人）に支援金が支給されたのを始め、新型コロナに対応した多くの事業が行われたことに感謝します。

ソ 学校教育の充実に向けて、学校、家庭、地域と連携して推進することにより成果をあげていることを、7基本事業の施策・基本事業の方向、34事業の活動実績・成果、「学校教育の充実の総括」から確認しました。

(2) 宮古市社会教育委員 三村敬之氏の意見

教育委員会の組織構成や体制に加え、総合教育会議の開催及び教育委員会会議の定例会、臨時会が適正に開催されたこと、及び各会議の内容が適切に審議されたことを確認しました。

少子化に伴い宮古市の貴重な財産とも言える生徒の教育環境と支援に対して、必要な施設改修や ICT 機器の整備など、学校との連携を深め、これまで以上に取り組んでいただくようお願いいたします。

生涯学習の推進

ア これまでのように文化施設の改修工事、学習ボランティアや地域コーディネーターの人材確保や人材育成の問題があると思われませんが、引き続き生涯学習の環境施設の維持や管理、人材の育成や配備に取り組んでいただき、市民の学習意欲を高め、維持していく取り組みに努めていただきたいと思います。

イ 新型コロナウイルスの影響が一時期は落ち着いたように見えてましたが、依然として感染拡大の影響が続いております。様々な事業や講座等の実施が難しい状況ではありますが、感染防止対策を徹底した上で、人数制限をしたイベントの複数開催やオンラインでの開催を検討し、引き続き可能な限り市民の生涯学習の推進・支援を進めていただきたいと思います。

文化の振興

引き続き地域の財産とも言える文化財の調査研究、管理保存や活用に取り組んでいただくことに加え、多くの宮古市内外の方々が訪れ、宮古市の文化に触れられるよう、情報発信と文化施設の体験学習や講座等のイベントの充実に取り組んでいただきたいと思います。

(3) 宮古市スポーツ推進審議会委員 石崎勝正氏の意見

教育委員会の活動状況について、教育委員会会議の定例会、臨時会等について適正に執行されていることを確認しました。新型コロナ感染の中、関係団体との協力を求め、事業実施している職員に対して感謝申し上げると共に未来の夢に向かってさらに取り組んでいくことをお願いします。

スポーツ・レクリエーションの振興

ア 一般財団法人宮古市体育協会、宮古市スポーツ推進委員会及び協定を締結した大学や関係団体と協力しながら生涯スポーツ推進体制の強化を図り実施することを期待します。

イ 指導者の育成やスポーツリーダーバンクの充実による指導者の確保を図り今後を見据え、青少年の未来への夢を与えられるようお願いいたします。指導者の知識と技術の向上に向け各スポーツ団体の指導者と垣根を超えて情報交換をし、選手を育てる環境を期待します。

- ウ 少子高齢化が加速しており時代に沿った大会等を含め、スポーツ・レクリエーション団体の支援と連携を図り、総合型地域スポーツの育成と普及が人材育成につながることを期待します。
- エ 各種目の競技力の向上を図るため、講習会で高度な知識を求め、選手と共に切磋琢磨して技術向上に向けた人材確保の組織づくりを期待します。
- オ 施設整備については復興後の改修工事も整ってきておりますが、より一層の施設整備の取り組み方や充実した施設管理の在り方を見直しできる事を感じましたので、施設環境に配慮と気配り願うことを希望します。
- カ 一般財団法人宮古市体育協会と連携し、青少年に目的と意欲を引き出させてくれる知識豊富な指導員を派遣し、各種スポーツ・レクリエーション活動に一層の協力要請をお願いします。

(4) 宮古市社会教育委員 小野寺文雄氏の意見

教育委員会会議の定例会や、臨時会において教育行政の適時に即した堅実な運営がなされていることが確認できました。今後も、前向きな運営にご尽力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

文化の振興

- ア 令和3年度も、衰えを知らない新型コロナウイルスによって発生した様々な問題点への取り組みと対応が適切に進められていること、さらに、心を癒す芸術文化活動と活動への支援が精力的に行われていることが高く評価できます。
- イ 文化の殿堂といえる市民文化会館の管理運営も、市民に対して丁寧で頼りになるものとなっており、年々評価が上向いてきていると感じております。
- ウ コロナ禍にあって、活動が制限されたり、自粛したりしている文化活動は、まだまだ先が見通せない現状にありますが、様々な情報を得ながら、心の復興につながるこれらの文化活動に、我々としても更に前向きな取り組みを進めて行きたいと思っております。
- エ 地域における文化財への対応が堅実になされていることが確認できます。また、将来へ向けての積極的な取り組みが順調に進められていることがうかがえ、そのご努力に敬意を表するものであります。文化財関係の情報発信と伝承、そして有効活用について、これまで同様、積極的な取り組みを期待しています。
- オ 宮古市におきましても、今後も地域の人口減少は避けられず、それに伴う伝統芸能の衰退は目に見えて進んできています。多くの先人たちが残してきた貴重な記録である市史の継承と共に、伝承者の育成、記録保存に、今後もしっかりと取り組んでいかれることを期待しております。

5 おわりに

教育委員会の事業運営は、令和3年度も新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、様々な制約や対策を講じながら実施してまいりました。今後も、事業の運営にあたっては、新しい生活様式を実践しながら、感染予防対策を徹底して実施していく必要があります。

令和3年度は教育用コンピュータ等（タブレット端末）の整備を行いました。情報社会に対応するため、学校や家庭において1人1台端末などのICT機器を積極的に活用し、個別最適な学びの充実に向けて、GIGAスクール構想をさらに推進してまいります。

また、コミュニティ・スクールを推進するため、地域学校協働活動推進員を中心に地域学校協働活動に取り組みました。令和4年度からは中学校区ごとに学校運営協議会を設置し、学校・家庭・地域が一体となった特色ある学校づくりに向けたコミュニティ・スクールを推進してまいります。

教育委員会では、「宮古市総合計画」、「宮古市教育振興基本計画（2020－2024）」において、施策の体系としている学校教育の充実、生涯学習の推進、スポーツ・レクリエーションの振興及び文化の振興に取り組み、地元への愛着や誇りの醸成を図るとともに、今後も教育行政の核である児童生徒、保護者、地域、そして市民の視点に立って、連携、協働を進め、未来を見据えながら、教育行政を推進してまいります。

また、社会の変化に対応していくひとづくりを目指して、SDGsが掲げる「誰ひとり取り残さない」という基本理念にのっとり、17ゴールのひとつ「質の高い教育をみんなに」を達成するため、学びの機会の提供に努めてまいります。

今回、外部評価として学識経験者の方からいただきましたご意見やご指摘については、教育現場の意向や実態等を考慮しながら、可能な限り教育施策に反映させていきたいと考えております。

最後に、この点検・評価を実施するにあたり、貴重なご意見やご提言をいただきました方々並びに関係者の皆様に心から感謝を申し上げます。